記入年月日

令和 3年度

事務事業評価表(令和 2年度 の実績評価)

	15-10 0	1/2						ナルチベ	0110020	1310 2	F/3X		Ť	和 2 年	4 月	1 日	
	車数車	務事業名			III	关面 車 类	¥				事業区分			担当			
争切争未行			県河川協会参画事業							新規/継続	継続	事務事業No.	030103000	0359			
					政策体	本系上の						単独/補助	単独	所属課	06010 ⁻		
政	総合記	計画の放			0301			災対策の充							建設課		
策		政策名		C				しのまちづ	くり					課長名			
体[施策名		C)1 消	防·防	災対策	の充実						グループ	管理グルー	-プ	
系		手段名	1	C		消防防								担当者名			
財務会計上の位置付け										事業期間							
又包	算科目	会計	款	項		事業	細		一般会計			単年度繰返		年度~			
		01	80	01	01	02	00		土木総務事業	業		□→ 期間限	定の場合、総	投入量を(3)投入量の右側	に記入	
汙	令根拠	茨城県	河川村	点会想:	約												

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1) (1)事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像)

【事務事業の内容】

治水事業、利水事業、河川環境整備事業及び災害復旧事業の促進を図り、あわせて水防体制を強化し、公共の安全と福祉の増進に寄与することを目的とす る。 ・総会への参加

- ・治水、利水、河川環境整備及び災害復旧の事業に関する調査、視察及び関係 当局への建議等大会及び研修会並びに水防演習等の開催及び参加
- その他必要な事業

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

- (担当者が行う業務の手順) 関係組織による大会、研修会、要望活動の連絡調整及び参加 水防月間、河川愛護月間の啓蒙活動
- 水防月間横断幕
- 河川愛護月間横断幕 通常総会 書面開催

			事業の手段・対象・ 担当者の活動内容)	・意図と各指	指標、指標値の推移 ④活動指標		す指標)		単位	O1年度 (実績)	O2年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度
総会への参加										1.00		1.00	1.00	1.00
					負担金額				千円	4.00	4.00	4.00	4.00	4,00
関	係組	織にる	よる研修会及び要望	包活動						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	対	ķ (į	誰、何を対象にしてい	(1るのか)	⑤対象指標	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	O1年度 (実績)	O2年度 (実績)	03年度 (計画)	O4年度 (目標)	05年度 (目標)
					中小河川部会				団体	44.00	(2.4.7.0)	44.00	44.00	44,00
市	町村	• 各科	種団体等		水防部会	水防部会				27.00	27.00	27.00	27.00	27.00
					防災部会	防災部会				44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
3	意[この事業によって対象 るのか)	象をどう変え	⑥成果指標	⑥成果指標 (対象における意図の達成度 を表す指標)			単位	01年度 (実績)	O2年度 (実績)	03年度 (計画)	O4年度 (目標)	05年度 (目標)
					整備に関する	整備に関する要望活動				1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			な活用を実施し、信 或の発展を図る	主民の生活安	₹					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					01年度 (実績)				03年度 (計画)					間限定 没入量
ŧ∿.	事業費	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債	千円千円千円		0	0			0				0
1×			使用料・手数料	千円		0	0			0				0
入			一般財源 事業費計(A)	千円		4	4			4				0
量			正規職員從事人数 人 3.00人 3.00人				3	3.00人	· I					
	Щ													
	10	台·口·	O2 金補助及び交付金	年度事業費 4	実績(千円)				巾仝斌		O3年度事業費 予算(千円) 金 4			
事	10	女127				10 5			担金補助及び交付金		. +			
業費														
の内														
訳														
				合 計		4					合	計	4	

	_	1		10 (시니니)										
事務事業名	県河川協会参画事業	事務事業No.	30103000359	所属課	建設課									
	始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたの	か? 開始時期ある	いは5年前と比べてど	う変わったのか?										
河川改修の要望書提記 (5) この事務事業に対	出を期に参画 して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)	からどんな意見や要	夏望が寄せられているか	<u>v</u> ?										
1級河川の早期改修、 (See) 2.評価の部	、堆積土砂の浚渫等の要望が寄せられている。 *原則は事前評価。													
	評価													
切政策体系との整合 現 結びついている 状														
維② 公共関与の妥当性持	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)													
妥当である ③ 成果の向上余地	竪当である 整備促進に係る費用負担であるため妥当である。													
向上余地がない	河川の整備状況の実態を切実に訴えていく要													
(4)廃止・休止の成果			73 C AS EXPONENCE OF S S III		3/3 /00 %									
有 影響有	整備等の遅滞になる。													
⑤類似事業との統廃	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ↓ 具体的な手段、事務事業名													
	⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)													
率性性 削減余地がない 定額負担により運営されている組織であり削減の余地はない。														
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)													
平性 公正・公平である														
【Plan】 3. 評価結果 (1) 1次評価者とし	果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) ノての評価結果 (2)) 全体総括(振り返り	、 反省点)											
①目的妥当性 ②有効性 ③効率性 ④公平性	桜川改修	整備に対して未計画	(区間の事業推進につい 更なる要望活動を進め		いる。 桜川改修期成									
(3) 今後の事業の方向	性 (複数回	な 司)		(4)改革・改	改善による期待成果									
	迷続 → □ 改革改善を行う ← □ 目的 <i>0</i> □ 月初代 □ 有効性	D再設定 □ 生の改善 □	公平性の改善		休止の場合は記入不要) コスト									
□ 廃止 □ 依 (5) 改革,改善を実	木止 → ■ 現状維持	らができる 	連携ができる 丿 	自	川減 維持 増加									
(0) (4)	成舞特の													
					後優先度評価結果 (A)									
[O -] 4 Tm-====	3.パカサルギにウはてのお培木を			成果優先度評価	5結果 9									
(1) 課長評価	及び改革改善に向けての指摘事項 (2)	部長確認及び評価	西 (課長評価により、	C、D判定及び確認	忍が必要な場合)									
Δ	確注 (現状維持) C:終了、廃止、休止 (改革改善を行う) D:2次評価へ提出	忍欄												